

# じぞくかのうけんせい 持続可能な県政へ

20年後・50年後・100年後の岩手を今この時から



## 産業

- 産学官連携・研究開発の強化による、地域別産業のブランド力向上、県内企業の成長を助成。
- 盛岡広域西部(雫石町・滝沢市)における連携を強化し、農業の6次産業化・DX農業等の推進へ。

## 東日本大震災

- 減率延長される復興特別所得税の代替確保を。
- モノの復興から一人ひとりの復興へ(災害ケースマネジメント)。

## 財政

- 全国平均レベルの自主財源率を目指す(45%→52%)。
- ふるさと納税・クレジット・第三セクター、あらゆる可能性を排除しない収入確保を。

## 県政目安箱

- 私たち一人ひとりの知見・アイデアを、県政により直接的に取り入れへ。

## 人口減対策

- 教育費完全無償化を目指し、段階的教育費支援策を実施。
- Iターン・Uターンの促進をいっそう強化し、人口社会減を実質0へ。

## 教育

- 不登校(2300人)、ニート(7000人)の就学・就労対策の強化を。「知の再生」社会へ。
- 小学生の英語教育力日本一。

## 福祉

- 子ども、高齢者、障がい者を地域で支え合い、地域共生社会の実現へ。
- 超高齢社会(35%)の中、住み慣れた地域で暮らし続けられる地域包括ケアシステムを推進。



## 菅野 雄太 プロフィール

■生年月日 1977年7月21日生 ■生まれ 岩手県陸前高田市

5歳のとき、滝沢市に引越し。鶯飼小学校、滝沢南中学校(生徒会長)を経て、盛岡第一高等学校に入学。不登校を経験し、中途退学する。上京し、大学入学資格検定(現高卒認定)を取得も、大手飲食店や不動産会社で生計をたてる。あの東日本大震災を機に一念発起し、東京理科大学に入学、働きながら大学を卒業(学部長表彰)する。大手学習塾に転職のかたわら、研究意欲に目覚め、奨学生として大学院に通い、修士と博士を取得(専攻は経営工学)する。修得した問題解決能力を岩手の未来に生かしたいと故郷にもどり現在に至る。

■最終学歴 東京理科大学大学院 博士(工学)  
■資格 宅地建物取引士 / AFP / 損害保険代理店専門試験(法律・税務)  
MOS試験Word,Excelエキスパート / 日商簿記2級 / 普通自動車第一種免許



憧れだけじゃ超えられない!!  
もう、何もしてないなんて言わせない!!

菅野 雄太  
ゆうた

持続可能な県政へ

持続可能な岩手を菅野ゆうたと考える会

各SNSの  
問合せフォームより  
ご入会を  
受けつけています。



ホームページ



Facebook



Instagram



LINE公式

BJ.YUTA.0721

後援会のご案内 討議資料



# じぞくかのうけんせい 持続可能な県政へ

20年後・50年後・100年後の岩手を今この時から

## 1 財政について

全国平均レベルの自主財源率を目指します。現在、45%程度ですが、全国平均52%を目標に、財政の健全化を図ります。ふるさと納税・Jクレジット・第三セクター等、あらゆる可能性を排除しない収入確保に取り組みます。政府に働きかけ、財源を確保するという従来の方法では、政府に左右され、**根本的な課題の異なる地方自治は持続可能性を保てません。**

## 2 産業について

産学官の連携や研究開発を強化し、**地域ごとの産業のブランド力向上を図ります。**特産品や技術の研究開発を支援し、県内の企業の成長を助成します。また、盛岡広域西部での、**農業の6次産業化やDX農業等を推進するための連携を強化し、農業を中心とした地域の産業振興を図ります。**

## 3 福祉について

地域の絆を強化し、子ども・高齢者・障がい者が互いに支え合い、**福祉のネットワークを広げる取り組みを推進します。**徐々に、障がい者総合支援法等の法整備は進んでいますが、滝沢市をはじめ、施設や社会福祉法人の指導育成等が遅れており、「**地域共生社会**」の実現にはほど遠い状況です。また、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、**地域包括ケアシステム**を推し進めます。

## 4 人口減対策について

教育費完全無償化を目指し、高所得者層の段階的な教育費低減策に取り組みます。**経済力に関わらず、教育の機会が平等な社会を目指します。**また、岩手県の魅力や、働きやすい・生きやすい環境をいっそうアピールし、Iターン・Uターンの促進強化を図り、**人口の社会減を実質的にゼロにするよう取り組みます。**

## 5 教育について

不登校やニートの人々が教育や就労の機会を得られ、「**知の再生**」社会を築けるよう**取り組みます。**これこそ一人ひとりに寄り添う対応が求められます。また、**小学生の英語教育力日本一に取り組みます。**グローバル社会において英語教育は重要であり、プログラミング教育における各言語も英語で指示することが一般的です。国際的な舞台上で活躍できる力を育てていきます。

## 6 東日本大震災からの復興対策

**減率延長される復興特別所得税の代替確保に取り組みます。**また、**災害ケースマネジメント**の実施に取り組みます。公共的なインフラ整備がひと段落したのち、複数ローンや心のケア等、残りの課題はより多様に・より多岐にわたっています。

## 7 県政目安箱の設置

日本は、他の先進国に比べて、公務員の割合が少ない国です。それゆえ、県政もトップダウンの方式では限界があります。広く民間からアイデア・意見を募り、**県政をボトムアップの方式で進めていく必要があります。**そのスタートとして、**県政目安箱の設置に取り組みます。**

## 8 最後に・・・。

私の政策は、**持続可能性を求め、県の財政確保を維持しつつ、産業の活性化から福祉の充実が柱です。**政治とは、弱い立場の人たちを救うためにあり、それが唯一の存在意義であると、私は信じています。私ひとりの力は微々たるもので、私はただの旗手であり、共鳴していただける仲間を募っています。

## 雫石町・滝沢市のみなさまへのごあいさつ

こんにちは、菅野雄太（かんの ゆうた）です。少しでも私の昔ばなしにお付き合いください。

私は、保育園から小中高を滝沢村で過ごし、28年前に岩手をすてるつもりで上京し、自分なりの苦労を重ねたつもりでした。しかし、あの東日本大震災を転機に故郷に帰ろうと決め、はや12年が経ちました。働きながら、望みであった学問を修めることがひと段落し、45歳になり故郷に帰ってきました。出迎えてくれたのは、あのときと変わらない呼び方をしてくれる、にぎやかな家族と、近隣近所のみなさんと、地元の同級生のみんなでした。まわりは「お父さん」が「おじいちゃん」に、「あいつ」が「お母さん」に肩書が変わりましたが、恥ずかしながら、大切なものは何ひとつ変わっていないことを知りました。

そんな出身地である滝沢市の家族・みなさん・みんなを含めた一人ひとりのため、当時、野球で私たちの連戦連敗だった雫石中学校や、家族行事で何度も歩いた小岩井農場や道の駅あねっこを抱える、大好きな「壬生義士伝」の舞台ともなった雫石町の一人ひとりのため、そしてゆるやかな衰退をむかえている私たちの岩手の未来のために、キレイごとではなく、私の持てる残りの全能力を傾けようと決心しております。

持続可能な岩手のために

菅野 雄太



「今のまま」を変えたい仲間を求めています

後援会 持続可能な岩手を菅野ゆうたと考える会

〒020-0668 岩手県滝沢市鶴飼狐洞1-245-B

TEL 019-601-8678

FAX 019-601-8679

